



平成 27 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社  
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文  
 ( J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7 )  
 問い合わせ先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之  
 電 話 番 号 ( 0 3 ) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

## 平成 27 年 3 月期連結及び個別業績見通し並びに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

平成 27 年 3 月期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 27 年 3 月期の業績速報値及び業績の差異

## (1) 連結

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前 期 実 績 (平成 26 年 3 月期) (A)	4,237	95	39	255
当 期 実 績 見 込 み (平成 27 年 3 月期) (B)	4,772	488	518	193
増 減 額 ( B - A )	535	584	558	448
増 減 率 ( % )	12.6			

## (2) 個別

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前 期 実 績 (平成 26 年 3 月期) (A)	4,102	153	39	256
当 期 実 績 見 込 み (平成 27 年 3 月期) (B)	4,572	388	463	147
増 減 額 ( B - A )	469	541	502	403
増 減 率 ( % )	11.4			

## 2. 差異が生じた理由

## (1) 連結業績見込み

当連結会計年度(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)においては、17 年振りに実施された消費税率引き上げによる影響は見受けられるものの、量的・質的金融緩和の導入により、消費動向に大きな影響はなく、景気は穏やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国での市場予測を上回る良好な経済指標や根強い米利上げ観測などが影響し、米国を中心とした景気回復が続いているものの、中国の経済成長の減速や、ギリシャ問題が解決できない EU(欧州連合)及び中東における地政学的リスク等により、先行きは不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引の売買高は 1,145 千枚(前年同期比 12.4%減)及び金融商品取引等の総売買高は 2,411 千枚(前年同期比 2.6%増)となりました。商品先物取引の貴金属市場における手数料が減少したものの、取引所株価指数証拠金取引による手数料が伸びたため、受取手数料は 4,322 百万円(前年同期比 8.6%増)、売買損益は 405 百万円の利益(前年同期は 211 百万円の利益)となり、営業収益は 4,772 百万円(前年同期比 12.6%増)、営業利益は 488 百万円(前年同期は 95 百万円の営業損失)、経常利益は 518 百万円(前年同期は 39 百万円の経常損失)となり、繰延税金資産の取り崩しにより法人税等調整額を 211 百万円計上した結果、当期純利益は 193 百万円(前年同期は 255 百万円の当期純損失)となる見込みであります。

## (2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、営業利益は 388 百万円(前年同期は 153 百万円の営業損失)、経常利益は 463 百万円(前年同期は 39 百万円の経常損失)となり、繰延税金資産の取り崩しにより法人税等調整額を 213 百万円計上した結果、当期純利益は 147 百万円(前年同期は 256 百万円の当期純損失)となる見込みであります。

以 上